

令和7年12月23日

**【福島大学】学び続ける教師コミュニティ
2026春 教育実践福島ラウンドテーブル
～ NITS・福島大学コラボ研修 ～**

本学大学院教職実践研究科（教職大学院）では、新しい教員研修の形を目指した、学び続ける教員を支えるコミュニティを形成すべく、教育実践福島ラウンドテーブルを継続して開催しています。

19回目の開催となる今回は、来場型（福島大学共通講義棟）とオンライン型（Zoom）のいずれかを選択できるハイフレックス型で開催いたします。

福島県内外から多くの教職員、教育関係者、研究者、医療・福祉関係者、学生、保護者・市民の方々にご参加いただき、教育に関するお互いの学びを深めています。ぜひ当日のご取材と事前周知のご協力をお願いいたします。

- ◆ 日 時：2026(令和8)年2月14日（土）10:00～15:45
 - ◆ 方 法：ハイフレックス開催（福島大学共通講義棟 + Zoom）
 - ◆ 主 催：福島大学大学院教職実践研究科
 - ◆ 共 催：福島県教育委員会
 - ◆ 後 援：福島県市町村教育委員会連絡協議会ほか
- 詳細につきましては、別紙チラシをご参照ください。

午前の部における基調講演では、浅井 幸子氏（東京大学大学院教育学研究科 学校教育高度化専攻教職開発コース 教授）より、『協同的で探究的な学びの実現をめざした授業研究』のテーマでお話しをいただきます。

本講演では、日本の授業研究の多様な様式を、「モデルの提示」「カリキュラム・教育方法の改革」「教師の専門的成長」「同僚性の構築」という4つの目的から歴史的に概観します。あわせて、教師の成長を主眼とする授業研究と、同僚性の構築を重視する授業研究の違いについて、学びの共同体の授業研究を中心に、具体的な事例をもとに考察します。

午後の部におけるラウンドテーブルでは、校種、職種など立場を超えた少人数のグループでの交流を行っていきます。参加者が日常の実践で得た成果や抱える問題等について意見を交換し、多様な視点から問題解決のヒントを得たり、新たな気づきや関心を高めたりすることで、未来を拓く“生きる力”を育む創造的な教育実践の展開につなげます。

【お問合せ先】

福島大学人間発達文化学類支援室

電 話：024-548-8103 FAX：024-548-3181

メーリル： ningen@adb.fukushima-u.ac.jp

『NITS・福島大学大学院コラボ研修』 学び続ける教師コミュニティ

2026 春 教育実践福島 ラウンドテーブル

日時

2026年 2月14日(土)

10:00 ~ 15:45 開場 9:30

会場

来場型 福島大学 共通講義棟

オンライン型 Zoom

プログラム

午前の部 10:00 ~ 12:00

基調講演

「協同的で探究的な学びの実現をめざした授業研究」

講師 浅井 幸子 先生 東京大学大学院教育学研究科 学校教育高度化専攻教職開発コース 教授

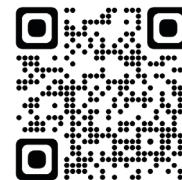
午後の部 13:10 ~ 15:45

学びのコミュニティ ラウンドテーブル

日々の教育活動や教育に関して感じていることや課題、悩み等について少人数のグループで自由に語り合います。



報告者も大募集！



お申し込みは
こちらから

Plantをご覧の方も申込は
こちらからお願いします

主催 福島大学大学院 教職実践研究科
共催 福島県教育委員会

後援 福島県市町村教育委員会連絡協議会 福島県都市教育長協議会 福島県町村教育長協議会
福島県小学校長会 福島県中学校長会 福島県高等学校長協会 福島県特別支援学校長会
福島県国公立幼稚園・こども園協議会 公益社団法人福島県私立幼稚園・認定こども園連合会
福島県私立中学高等学校協会 福島県公立学校退職校長会 福島県PTA連合会
福島大学人間発達文化学類同窓会 福島大学人間発達文化学類後援会

【教職員支援機構とは】

独立行政法人教職員支援機構は、教職員に対する総合的支援を行う全国拠点として、国の教育政策上必要とする研修の効果的な実施や調査研究等を通じ、教職員の資質・能力の向上に寄与する組織です。

英語表記である「National Institute for School Teachers and Staff Development」から「N、I、T、S」の頭文字を取って、「NITS（ニッツ）」を略称としています。

午前の部

基調講演 講師紹介

あさい さちこ
浅井 幸子

先生 日本教育学会理事、日本教育方法学会理事、日本教師教育学会理事

東京大学大学院教育学研究科 学校教育高度化専攻教職開発コース 教授



【略歴】

東京大学大学院教育学研究科博士課程修了、和光大学現代人間学部を経て、2012年より現在の所属で勤務しています。学びの共同体の学校改革に取り組む小中学校の校内授業研究に参加し、子どもたちや先生たちとともに学んでいます。

【主な著書】

『教師の語りと新教育』(東京大学出版会、2008年)

『教師の声を聴く』(共編著、学文社、2016年)

『アトリエからはじまる「探究」』(共編著、中央法規出版、2022年)ほか

【講演概要】

日本の授業研究は歴史的に多様であり、それぞれの様式が独自の目的と機能を持っている。この講演では、その多様性を、「モデルの提示」「カリキュラム・教育方法の改革」「教師の専門的な成長」「同僚性の構築」という4つの授業研究の目的に即して、歴史的に概観する。さらに、教師の専門的な成長を目指す授業研究と、同僚性の構築を目指す授業研究の違いを、後者である学びの共同体の授業研究を中心に考察したい。具体的には、茅ヶ崎市立浜之郷小学校の創設時の出来事や、現在行われている具体的な授業検討会の事例に即して、その組織やディスコースの特徴を考えていきたい。

午後の部

学びのコミュニティ ラウンドテーブル

普段は異なる分野で日常を過ごしている方々と、同じ学びの探究者として語る場です。

- 色々な立場の方と少人数でテーブルを囲みます
- テーブルのメンバーは同じ立場で参加します
- 各テーブルにはファシリテーターがつきます
- 1つの話題についてじっくりと語って聞き合います

教育に関する
フリートークの時間も
(40分程度)



報告者大募集!

あなたも ラウンドテーブル で語ってみませんか!
リピーターのあなたはぜひ!
もちろんはじめてのあなたも!!

- 先生のあなた 普段取り組んでいることや悩み、疑問など、何でもOK!
- 学生のあなた こんなこと学んでます! どんな学びをしておいたら良い?
- 医療・福祉に関わっているあなた こんな課題があることを知ってほしい!
- 企業にお勤め・経営されているあなた こんな取り組みを知って欲しい!
など 気軽にお話しいただけますよ!

- 持ち時間は 40 分間程度
(説明は 15 分間程度)
- 資料等は簡単なもの
(A4 1枚など)でOKです!
準備が難しい場合はお話のみ
でもかまいません

福島大学大学院 教職実践研究科 (教職大学院)からのお知らせ

あなたも「福島大学 教職大学院」で学んで
福島の「これからの教育」をともに創っていきませんか?

- ミドル・リーダー養成コース 現職教員のみ
チーム学校を牽引し、学年・学校経営課題への対応力を磨きます。
- 授業デザインコース 現職教員・学部新卒学生
将来的なミドル・リーダーを目指し、基盤となる教育実践力を磨きます。
- 特別支援教育コース 現職教員・学部新卒学生
障害の多様化や個別化に対応できる専門性、高度な教育実践力を磨きます。

詳しくは [福島大 教職大学院](#) で

ラウンドテーブルご参加にあたってのお願い

- 来場型で ご参加を予定の方へ
 - ・各種感染症防止対策にご協力をお願いします。
 - ・お車でお越しの際は、駐車券を受付までお持ちください。
- オンライン型で ご参加を予定の方へ
 - ・開催数日前を目途に接続情報をあ知らせいたします。
 - ・トラブルを防止するため、Zoom クライアントアプリを最新版にアップデートしてから接続をお願いします。

諸事情によりやむなく中止する際は、お申し込み時にご登録いただいたメールアドレス宛にご連絡いたします。確実にご連絡できるものをご登録願います。

【お問い合わせ先】

〒960-1296 福島市金谷川1番地 福島大学人間発達文化学類支援室

TEL 024-548-8103 FAX 024-548-3181 Mail ningen@adb.fukushima-u.ac.jp